

WWL 津島毛織物工業協同組合を訪問しました

令和7年6月17日（火）

本校では、国際理解コースの生徒を中心に有志を募り、津島市の主力産業であった尾州毛織物に関する探究活動を継続して行っています。この活動は令和5年度より始まっており、3年目である今年はこれまでの先輩方が築いてきたものを引き継ぎ、ペンケースやトートバッグという2つの製品を実際に生徒が販売をし、製品の改良と事業の拡大に取り組んでいく予定です。その活動の第一歩として、6月17日（火）に本校2年生の生徒5名と引率教員3名が津島毛織物工業協同組合を訪問しました。

今回は昨年と同様に津島毛織工業協同組合事務次長の安達様を訪問し、名古屋市障害福祉連合会で作られた尾州生地のパンケースをいただきました。対談の中では紡績の過程や尾州織物の背景などをお聞きし、今後の展開について話しました。安達様からは出会った経緯や今までの先輩の詳しい活動、審査員の方からいただいたアドバイスなど、今後の活動の参考になることをたくさん伺うことができました。どれもとても興味深いお話で、生徒たちもこの活動の良いスタートダッシュが切ることができました。

この訪問に参加した生徒たちは、話を聞いたことでこの活動には様々な企業の方々が協力してくださっているということを知りました。生徒たちは、先輩から受け継いだこの活動をより展開し、年代関係なく全国の方々に知ってもらえるように努めていくことと思います。



引率者：金澤 学、大谷 暁子、田中 美帆